

ペテロの第一の手紙

第一章 イエス・キリストの使徒ペテロから、

ポント、ガラテヤ、カパドキヤ、アジャおよびビテニヤに離散し寄留している人たち、ニすなわち、イエス・キリストに従い、かつ、その血のそそぎを受けるために、父なる神の予知されたところによって選ばれ、御霊のきよめにあずかっている人たちへ。

恵みと平安とが、あなたがたに豊かに加わるように。

三ほむべきかな、わたしたちの主イエス・キリストの父なる神。神は、その豊かなあわれみにより、イエス・キリストを死人の中からよみがえらせ、それにより、わたしたちを新たに生れさせて生ける望みをいだかせ、あなたがたのために天にたくわえてある、朽ちず汚れず、しばむことのない資産を受け継ぐ者として下さったのである。五あなたがたは、終りの時に啓示さるべき救にあずかるために、信仰により神の御力に守られているのである。六そのことを思つて、今しばらくのあいだは、さまざまな試練で悩まねばならないかも知れないが、あなたがたは大いに喜んでゐる。七こうして、あなたがたの信仰はためされて、火で精錬されても朽ちる外はない金よりもはるかに尊いことが明らかにされ、イエス・

キリストの現れるとき、さんびと栄光とほまれとに変わるであろう。八あなたがたは、イエス・キリストを見たことはないが、彼を愛している。現在、見てはいないけれども、信じて、言葉につくせない、輝きにみちた喜びにあふれている。九それは、信仰の結果なるたましいの救を得ているからである。一〇この救については、あなたがたに対する恵みのことを預言した預言者たちも、たずね求め、かつ、つぶさに調べた。二彼らは、自分たちのうちにいますキリストの霊が、キリストの苦難とそれに続く栄光とを、あらかじめあかしした時、それは、いつの時、どんな場合をさしたのかを、調べたのである。三そして、それらについて調べたのは、自分たちのためではなくて、あなたがたのための奉仕であることを示された。それらの事は、天からつかわされた聖霊に感じて福音をあなたがたに宣べ伝えた人々によって、今や、あなたがたに告げ知らされたのであるが、これは、御使たちも、うかがい見たいと願っている事である。

三それだから、心の腰に帯を締め、身を慎み、イエス・キリストの現れる時に与えられる恵みを、いささかも疑わずに待ち望んでいなさい。四従順な子供として、無知であつた時代の欲情に従わず、五むしろ、あなたがたを召して下さった聖なるかたにならつて、あなたがた自身も、あらゆる行いにおいて聖なる者となりなさい。六聖書に、「わたしが聖なる者であるから、あなたがたも聖な

る者になるべきである」と書いてあるからである。二あなたがたは、人をそれぞれのしわざに応じて、公平にさばくかたを、父と呼んでいるからには、地上に宿っている間を、おそれの心をもって過すべきである。三あなたがたのよく知っているとおり、あなたがたが先祖伝来の空疎な生活からあがない出されたのは、銀や金のような朽ちる物によつたのではなく、一きずも、しみもない小羊のようなキリストの尊い血によつたのである。四キリストは、天地が造られる前から、あらかじめ知られていたのであるが、この終りの時に至つて、あなたがたのために現れたのである。五あなたがたは、このキリストによつて、彼を死人の中からよみがえらせて、栄光をお与えになつた神を信じる者となつたのであり、したがつて、あなたがたの信仰と望みとは、神にかかつているのである。

三あなたがたは、真理に従ふことによつて、たましいをきよめ、偽りのない兄弟愛をいだくに至つたのであるから、互に心から熱く愛し合いなさい。三あなたがたが新たに生れたのは、朽ちる種からではなく、朽ちない種から、すなわち、神の変ることのない生ける御言によつたのである。

二四「人はみな草の如く、花に似ている。草は枯れ、花は散る。」

花は散る。

しかし、主の言葉は、とこしえに残る。

五これが、あなたがたに宣べ伝えられた御言葉である。

第二章 一だから、あらゆる悪意、あらゆる偽

り、偽善、そねみ、いっさいの悪口を捨てて、二今生れ

たばかりの乳飲み子のように、混じりけのない霊の乳を

慕い求めなさい。それによつておい育ち、救に入るよう

になるためである。三あなたがたは、主が恵み深いかた

であることを、すでに味わい知つたはずである。四主は、

人には捨てられたが、神にとつては選ばれた尊い生ける

石である。五この主のみもとにきて、あなたがたも、そ

れぞれ生ける石となつて、霊の家に築き上げられ、聖な

る祭司となつて、イエス・キリストにより、神によるこ

ばれる霊のいけにえを、ささげなさい。六聖書にこう書

いてある、

「見よ、わたしはシオンに、

選ばれた尊い石、隅のかしら石を置く。

それにより頼む者は、

決して、失望に終ることがない」。

七この石は、より頼んでいるあなたがたには尊いもので

あるが、不信仰な人々には「家造りらの捨てた石で、隅

のかしら石となつたもの」、八また「つまずきの石、妨げ

の岩」である。しかし、彼らがつまずくのは、御言に従

わないからであつて、彼らは、実は、そうなるように定

められていたのである。九しかし、あなたがたは、選ばれた種族、祭司の国、聖なる国民、神につける民である。それによって、暗やみから驚くべきみ光に招き入れて下さったかたのみわざを、あなたがたが語り伝えるためである。一〇あなたがたは、以前は神の民でなかつたが、いまは神の民であり、以前は、あわれみを受けたことのない者であつたが、いまは、あわれみを受けた者となつてゐる。

二愛する者たちよ。あなたがたに勧める。あなたがたは、この世の旅人であり寄留者であるから、たましいに戦いをいどむ肉の欲を避けなさい。三異邦人の中にあつて、りっぱな行いをしなさい。そうすれば、彼らは、あなたがたを悪人呼ばわりしていても、あなたがたのりっぱなわざを見て、かえつて、おとずれの日に神をあがめるようになるう。

三あなたがたは、すべて人の立てた制度に、主のゆえに従いなさい。主権者としての王であるうと、四あるいは、悪を行う者を罰し善を行う者を賞するために、王からつかわされた長官であるうと、これに従いなさい。五善を行うことによつて、愚かな人々の無知な発言を封じるのは、神の御旨なのである。六自由人にふさわしく行動しなさい。ただし、自由をば悪を行う口実として用ゐず、神の僕にふさわしく行動しなさい。七すべての人をうやまい、兄弟たちを愛し、神をおそれ、王を尊びな

さい。

八僕たる者よ。心からのおそれをもつて、主人に仕えなさい。善良で寛容な主人だけにでなく、氣むずかしい主人にも、そうしなさい。九もしだれかが、不当な苦しみを受けても、神を仰いでその苦痛を耐え忍ぶなら、それはよみせられることである。一〇悪いことをして打ちたたかれ、それを忍んだとしても、なんの手柄になるのか。しかし善を行つて苦しみを受け、しかもそれを耐え忍んでゐるとすれば、これこそ神によみせられることである。三あなたがたは、実に、そうするようにと召されたのである。キリストも、あなたがたのために苦しみを受け、御足の跡を踏み従うようにと、模範を残されたのである。三キリストは罪を犯さず、その口には偽りがなかつた。三ののしられても、ののしりかえさず、苦しめられても、おびやかすことをせず、正しいさばきをするかたに、いっさいをゆだねておられた。四さらに、わたしたちが罪に死に、義に生きるために、十字架にかかつて、わたしたちの罪をご自分の身に負われた。その傷によつて、あなたがたは、いやされたのである。五あなたがたは、羊のようにさ迷つていたが、今は、たましいの牧者であり監督であるかたのもとに、たち帰つたのである。第三章 一同じように、妻たる者よ。夫に仕えなさい。そうすれば、たとい御言に従わない夫であつても、二あなたがたのうやうやしく清い行いを見て、その

妻の無言の行いによつて、救に入れられるようになるであらう。三 あなたがたは、髪を編み、金の飾りをつけ、服装をととのえるような外面の飾りではなく、四 かくれた内なる人、柔和で、しとやかな霊という朽ちることのない飾りを、身につけるべきである。これこそ、神のみまえに、きわめて尊いものである。五 むかし、神を仰ぎ望んでいた聖なる女たちも、このように身を飾つて、その夫に仕えたのである。六 たとえば、サラはアブラハムに仕えて、彼を主と呼んだ。あなたがたも、何事にもおびえ臆することなく善を行えば、サラの娘たちとなるのである。

七 夫たる者よ。あなたがたも同じように、女は自分よりも弱い器であることを認めて、知識に従つて妻と共に住み、いのちの恵みを共に受ける者として、尊びなさい。それは、あなたがたの祈が妨げられないためである。

八 最後に言う。あなたがたは皆、心をひとつにし、同情し合い、兄弟愛をもち、あわれみ深くあり、謙虚でありなさい。九 悪をもつて悪に報いず、悪口をもつて悪口に報いず、かえつて、祝福をもつて報いなさい。あなたがたが召されたのは、祝福を受け継ぐためなのである。

一〇 いのちを愛し、さいわいな日々を過ごそうと願う人は、舌を制して悪を言わず、

一 ぐちびるを閉じて偽りを語らず、二 悪を避けて善を行い、三 平和を求めて、これを追え。四 主の目は義人たちに注がれ、主の耳は彼らの祈にかたむく。五 しかし主の御顔は、悪を行う者に対して向かう。六 そこで、もしあなたがたが善に熱心であれば、だれが、あなたがたに危害を加えようか。七 しかし、万一義のために苦しむようなことがあつても、あなたがたはさしいわいである。彼らを恐れたり、心を乱したりしてはならない。八 ただ、心の中でキリストを主とあがめなさい。九 また、あなたがたのうちにある望みについて説明を求め人には、いつでも弁明のできる用意をしていなさい。一〇 しかし、やさしく、慎み深く、明らかな良心をもつて、弁明しなさい。そうすれば、あなたがたがキリストにあつて當んでいる良い生活をそしめる人々も、そのようにののしつたことを恥じるであらう。一一 善をおこなつて苦しむことは――それが神の御旨であれば――悪をおこなつて苦しむよりも、まさつてゐる。一二 キリストも、あなたがたを神に近づけようとして、自らは義なるかたであるのに、不義なる人々のために、ひとたび罪のゆえに死なれた。ただし、肉においては殺されたが、霊においては生かされたのである。一三 こうして、彼は獄に捕われている霊どものところに下つて行き、宣べ伝えること

をされた。三これらの霊というのは、むかしノアの箱舟が造られていた間、神が寛容をもって待っておられたのに従わなかった者どものことである。その箱舟に乗り込み、水を経て救われたのは、わずかに八名だけであった。三この水はバプテスマを象徴するものであって、今やあなたを救うのである。それは、イエス・キリストの復活によるのであって、からだの汚れを除くことではなく、明らかな良心を神に願ひ求めることである。三キリストは天に上つて神の右に座し、天使たちともろもろの権威、権力を従えておられるのである。

第四章 このように、キリストは肉において苦しまれたのであるから、あなたがたも同じ覚悟で心の武装をなささい。肉において苦しんだ人は、それによつて罪からのがれたのである。二それは、肉における残りの生涯を、もはや人間の欲情によらず、神の御旨によつて過ごすためである。三過ぎ去つた時代には、あなたがたは、異邦人の好みにまかせて、好色、欲情、酔酒、宴楽、暴飲、気ままな偶像礼拝などにふけてきたが、もうそれで十分であろう。四今はあなたがたが、そうした度を過ぎた乱行に加わらないので、彼らは驚きあやしみ、かつ、ののしっている。五彼らは、やがて生ける者と死ねる者とをさばくかたに、申し開きをしなくてはならない。死人にさえ福音が宣べ伝えられたのは、彼らは肉においては人間としてさばきを受けるが、霊におい

ては神に従つて生きるようになるためである。七万物の終りが近づいている。だから、心を確かにし、身を慎んで、努めて祈りなさい。八何よりもまず、互の愛を熱く保ちなさい。愛は多くの罪をおおうものである。九不平を言わずに、互にもてなし合いなさい。二あなたがたは、それぞれ賜物をいただいているのだから、神のさまざまな恵みの良き管理人として、それをお互のために役立てるべきである。二語る者は、神の御言を語る者にふさわしく語り、奉仕する者は、神から賜わる力による者にふさわしく奉仕すべきである。それは、すべてのことにおいてイエス・キリストによつて、神があがめられるためである。栄光と力とが世々限りなく、彼にあるように、アーメン。

三愛する者たちよ。あなたがたを試みるために降りかかつて来る火のような試練を、何か思いがけないことが起つたかのように驚きあやしむことなく、二三むしろ、キリストの苦しみにあずかればあずかるほど、喜ぶがよい。それは、キリストの栄光が現れる際に、よるこびにあふれるためである。四キリストの名のためにそしられるなら、あなたがたはさいわいである。その時には、栄光の霊、神の霊が、あなたがたに宿るからである。五あなたがたのうち、だれも、人殺し、盗人、悪を行う者、あるいは、他人に干渉する者として苦しみに会うことのないようにしなさい。六しかし、クリスチャンとして苦

しみを受けるのであれば、恥じることはない。かえって、この名によって神をあがめなさい。一七さばきが神の家から始められる時がきた。それが、わたしたちからまず始められるとしたら、神の福音に従わない人々の行く末は、どんなであろうか。一八また義人でさえ、かろうじて救われるのだとすれば、不信なる者や罪人は、どうなるであろうか。一九だから、神の御旨に従って苦しみを受ける人は、善をおこない、そして、真実であられる創造者に、自分のたましいをゆだねるがよい。

第五章 「そこで、あなたがたのうちの長老たちに勧める。わたしも、長老のひとりで、キリストの苦難についての証人であり、また、やがて現れようとする栄光にあずかる者である。二あなたがたにゆだねられている神の羊の群れを牧しなさい。しいられてするのではなく、神に従って自ら進んでなし、恥ずべき利得のためではなく、本心から、それをしなさい。三また、ゆだねられた者たちの上に権力をふるうことをしないで、むしろ、群れの模範となるべきである。四そうすれば、大牧者が現れる時には、しばむことのない栄光の冠を受けるであろう。五同じように、若い人たちよ。長老たちに従いなさい。また、みな互に謙遜を身につけなさい。神は高ぶる者をしりぞけ、へりくだる者に恵みを賜うからである。

六だから、あなたがたは、神の力強い御手の下に、自

らを低くしなさい。時が来れば神はあなたがたを高くして下さるであろう。七神はあなたがたをかえりみていて下さるのであるから、自分の思いわずらいを、いっさい神にゆだねるがよい。八身を慎み、目をさましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、ほえたけるししのように、食いつくすべきものを求めて歩き回っている。九この悪魔にむかい、信仰にかたく立って、抵抗しなさい。あなたがたのよく知っているとおり、全世界にいるあなたがたの兄弟たちも、同じような苦しみの数々に会っているのである。一〇あなたがたをキリストにある永遠の栄光に招き入れて下さったあふる恵みの神は、しばらくの苦しみの後、あなたがたをいやし、強め、力づけ、不動のものとして下さるであろう。二どうか、力が世々限りなく、神にあるように、アアメン。三わたしは、忠実な兄弟として信頼しているシルワノの手によって、この短い手紙をあなたがたにおくり、勧めをし、また、これが神のまことの恵みであることをあかしした。この恵みのうちに、かたく立っていなさい。四あなたがたと共に選ばれてバビロンにある教会、ならびに、わたしの子マルコから、あなたがたによろしく。五愛の接吻をもって互にあいさつをかわしなさい。六キリストにあるあなたがた一同に、平安があるように。